

# アタマジラミが大量発生した場合の対応について

秋田市保健所

保育園、幼稚園、学校など集団生活の場でアタマジラミの発生が認められた場合には、かなり広範囲にまん延していると考えられます。

個々に治療を行っても相互にうつしあうことを繰り返すこととなります。被害の拡大を防止するためには集団の単位で一斉検診、一斉駆除を行うことが大切です。

また、保育園などの施設と保護者との協力体制が特に重要です。適切な対応で拡大防止に努めてください。

アタマジラミの生態や駆除方法等については、別紙「アタマジラミについて」を参考にしてください。

## I 保育園などの施設での対応

アタマジラミの発生が認められた場合には、子どもたちの頭髪をまめに観察するとともに、保護者との情報交換を密にして、まん延を防止しましょう。

なお、対応にあたっては差別やいじめが起きないように十分に配慮する必要があります。

### 1 対応にあたって気を付けていただきたいこと

#### ○アタマジラミを見つけても驚かない

アタマジラミは接触の機会があればうつりますが、適切に対処すれば駆除できます。アタマジラミや卵を見つけたとき、あわてたり大声で話したりすると、うわさにより間違った情報が広がる場合があります。そのことが原因で差別やいじめが起きないように、子どもたちのためにも冷静な対応をお願いします。

#### ○子どもを傷つけない

不潔だと受け取られがちですが、不衛生にしているから発生しているわけではありません。頭髪の検査をするときに不潔なものを触るようなしぐさをしたり、特定の子どもだけに時間をかけたりすることは、子どもを傷つけることとなります。

駆除に懸命な職員の皆さんは接触する機会が多いので注意は必要ですが、手で触ったくらいではうつりません。正しい認識を持って対応しましょう。

### 2 実際の対応

#### ○保護者への対応

アタマジラミに寄生されている子を見つけたら、保護者に連絡をとり、周りに配慮しながら状況を説明し、その後の対応についても次の事項を参考に説明してください。

- ・不潔で発生しているのではない。また、病気を媒介する事はまずない。
- ・痒みによる掻き傷は細菌感染しやすいので注意が必要である。
- ・帽子、タオル等の共用を中止し、家庭内での感染防止、駆除対策が必要である。
- ・施設では集団生活上の対策をするので協力してもらうよう促す。

#### ○被害状況を把握する

集団発生が疑われた場合、対策を講じるためには被害状況を正確に把握する必要があります。子ども全員の頭髪を検査し、被害の範囲を明らかにしてください。

## ○被害発生と対応方針を周知する

チラシ、連絡だより等で保護者に被害発生を周知するとともに、家族でも被害を受けている者がいないか調べてもらうよう依頼してください。

また、施設としての対応方針を明らかにすることで、アタマジラミの点検、駆除、予防等の協力を呼びかけてください。

## ○一斉に駆除、治療を行う

各家庭で一斉に駆除、治療を行うよう保護者に依頼してください。一人でも駆除を怠ると集団発生や再感染の繰り返しとなります。ただし、家庭の様々な事情により、駆除が一向に進まない家庭があります。家庭だけに問題を押しつけず協力して対応する必要があります。

また、施設では、集団の場での感染であるという認識のもと、子どもどうしの頭髮が触れ合わないよう配慮し、寝具等の共用を中止し、寝具や床の掃除を徹底するなどの措置を講じてください。具体的には次のとおりです。

- ・ほとんどの場合、寄生数が少ないので、登園、出席を控えさせる必要はありません。なお、寄生数の多い子の保護者が、率先して休ませたいと言った場合は、そのほうがよいでしょう。
- ・帽子、タオル等の共用はしないでください。また、重ね合ったりまとめたの保管もしないでください。
- ・着替えて脱いだ衣類も、各自保管させてください。
- ・昼寝をさせる場合、寄生された子を他の子と同室としても構いません。ただし、お互いの寝返り範囲や髪の高さを考慮して、周りの子とのスペースを空けてください。特に寄生の多い子の場合は十分にスペースをとってください。  
寄生されている子どもを別室にまとめて寝させたり、寄生の多い子を個室にするケースも見られますが、この場合は保護者への十分な説明と正しい理解を得ることが必要です。ひとつ間違えると差別や犯人扱いしたととらえられる恐れがあります。
- ・寝具類は各自専用としてください。
- ・昼寝が終わったら、寄生されている子どものシーツ、枕等に掃除機をかけてください。室内も掃除機をかけてください。
- ・寄生されている子どものシーツ等は、保護者に毎日持ち帰らせ、熱処理、洗濯等の適切な処置をさせてください。持ち帰り用の袋は専用のものとして、洗濯等の処置後のシーツ類を入れる袋も専用のものとして、それぞれ混同しないようにしてください。
- ・掃除機で床の清掃を念入りに行ってください。アタマジラミは共用物の使用や触れ合うなどの行為でうつるので、殺虫剤を散布しても防止効果は期待できません。薬害の方が心配です。

## ○定期的に頭髮の検査をする

駆除効果の確認調査は7～10日に1度実施してください。

また、駆除が終わっても安心はできません。再発生を防ぐには月に1回程度、定期的に頭髮の検査を行うことをお勧めします。この場合、「さりげなく」行う方法と、検査であることを保護者に告知して行う方法がありますが、誤解や差別につながらないように配慮してください。

早期発見、早期治療に努めることが重要です。

## II 家庭での対応

お子さんにアタマジラミの発生が認められた場合には、家庭内での感染を防止するとともに、通っている保育園などに連絡して、まん延を防止しましょう。

また、通っている保育園などから、アタマジラミの発生についてのお知らせがあった場合は、冷静に対応し、犯人さがしや差別などを行わないようにしてください。

### 1 対応にあたって気を付けていただきたいこと

#### ○アタマジラミを見つけても驚かない

アタマジラミを見つけても恥ずかしいことではありません。不潔だと受け取られがちですが、不衛生にしているから発生しているわけではありません。アタマジラミは接触の機会があればうつりますが、適切に対処すれば駆除できます。通っている保育園などに連絡して、まん延を防止しましょう。

#### ○子どもの心を傷つけない

アタマジラミがうつるからあの子とは遊んではいけないとか、あの子からうつされたといった言動は、差別や犯人扱いすることにつながり、子どもの心を傷つけてしまいます。誰もがうつる可能性がありますし、うつす可能性もあります。自分の子どもが被害者だといった考えは、他の子の心を傷つける事につながります。正しい認識を持って対応しましょう。

### 2 実際の対応

#### ○被害発生状況を報告する

お子さんにアタマジラミの寄生が認められた場合には、速やかに通っている保育園などの施設職員に連絡をとり、発生状況を知らせてください。集団生活の場では、対応を間違えるとアタマジラミがかなり広範囲にまん延してしまう恐れがあります。

不潔だと受け取られがちですが、不衛生にしているから発生しているわけではなく、恥ずかしいことでもありません。ひた隠しにしがちですが、まん延を防止するためには施設との情報交換が重要となります。

#### ○被害発生の情報提供を受けたとき

保育園などからのチラシ、連絡だより等でアタマジラミの発生についての知らせを受けた場合は、あわてずに対応してください。

お子さんが既にうつされてしまっている可能性もありますし、これからうつされるといふ心配もあるかと思います。しかし、決して犯人さがしや差別につながる行動はしないでください。きちんと対応すれば駆除できますし、予防もできます。

保育園などの対応方針を十分に理解し、協力して、アタマジラミの点検、駆除、予防等に取り組んでください。

#### ○一斉に駆除、治療を行う

集団の場での感染であるという認識のもと、被害拡大を防止するには、集団生活を行っている保育園などで気を付けなければならない事もありますが、各家庭での一斉駆除、治療が重要です。一人でも駆除を怠ると家庭内や集団での再感染の繰り返しとなります。駆除に懸命なお母さんは接触する機会が多いので、自分への感染にも注意してください。様々な家庭の事情があるかもしれませんが、保育園などと協力して対応する必要があります。

家庭では、タオル、寝具等の共用を中止し、十分な洗髪を基本とした駆除、寝具や床の掃除を徹底するなどの措置を講じてください。具体的には次のとおりです。

- ・ 保育園などとの連携がとれていれば、登園、出席を控えさせる必要はありません。なお、寄生数が多いなど、率先して休ませたいと考えた場合は保育園などと相談してください。
- ・ 帽子、タオル、寝具類等の共用はしないでください。また、重ね合ったりまとめたの保管もしないでください。
- ・ 枕カバー、シーツ、タオル、下着類を毎日替えて熱湯処理（60℃以上に保ち5分間）し、洗濯してください。洗えないものはアイロンをかけるかドライヤーなどで熱処理してください。洗濯やアイロンが済んだものと未だのものとを一緒にしたり、持ち運びのためのかごを共用することは避けてください。
- ・ 駆除のため、できるだけ毎日、寝る前に十分に洗髪してアタマジラミを洗い流してください。お子さん任せにすると洗髪が不十分で、アタマジラミを増やしてしまうことになります。
- ・ 洗髪をしやすくするために髪を短くする事はとても良い方法ですが、対策がしっかりしていれば、いやがる子の髪を無理やり短くする必要はありません。
- ・ 洗髪後、目の細かいくしや、ブラシでよく髪をすくことで産み付けられた卵を取ってください。
- ・ 人体用のシラミ駆除剤（フェノトリンを主成分とした粉剤あるいは液剤）を薬局等で購入し、用法用量に従って使用すると効果的です。（商品名：スミスリンパウダー、スミスリンシャンプータイプ）
- ・ 使ったくしやブラシなどに卵が付いていることがあります。熱湯処理などを行ってください。
- ・ 保育園などで昼寝をさせる場合、シーツ等は毎日持ち帰らせ、熱処理、洗濯等の適切な処置をしてください。持ち帰り用の袋は専用のもので、洗濯等の処置後のシーツ類を入れる袋も専用のもので、それぞれ混同しないようにしてください。
- ・ 掃除機で床の清掃を念入りに行ってください。殺虫剤を使用する必要はありません。

#### ○定期的に頭髪の検査をする

駆除効果の確認調査は7～10日に1度実施してください。

また、駆除が終わっても安心はできません。再発生を防ぐには、スキンシップを兼ね、まめに頭髪を観察してください。

早期発見、早期治療に努めることが重要です。

秋田市保健所衛生検査課

〒010-0976 秋田市八橋南一丁目8-3

TEL：883-1181 FAX：883-1344

E-mail：ro-hlex@city.akita.akita.jp